

令和7年度(2025年度) 一般財団法人豊中こども財団 事業運営方針

こども家庭庁が発足して以降、国においては、こども未来戦略に基づく配置基準の改善や、処遇改善といった取り組みが進められてきました。取組みの一つである「こども誰でも通園制度」は、全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援を目的に、今年度は「乳児等通園支援事業」として事業化されます。それに伴って保育人材の確保やその役割等はより一層重視されているものの、依然として人材確保は厳しい状況が続いているのが実状です。

また、「新子育てプラン」の後継として「保育政策の新たな方向性」が示され、今まさに量の拡大から質の向上へと軸足を移す重要な転換期を迎えています。

一方、昨年、能登半島地震では、多くの保育園・こども園が被災され、厳しい状況の中で、園児やその家族、地域住民への支援が今なお必要とされています。私たちはこれまでの自然災害を教訓に、大規模災害への備えや地域の活動拠点としての役割を考え続けなければなりません。

このような保育施策の動向や情勢を踏まえ、豊中市が掲げる「子育てしやすさ No.1」の実現をめざし、こどもとその家庭を社会全体で見守ることが出来るよう、私たち財団では、次の目標を掲げます。これからも子どもたちが自分の人生を自分の足で力強く歩んでいくことができるように、皆様のご協力とお力添えをお願いいたします。

重点目標

I. BCP(事業継続計画)策定促進事業

- ◎各会員施設での策定支援を進める
- ◎防災に関する研修を行う

II. 幼児教育・保育内容向上のための事業

- ◎幼児教育・保育事業者の運営調査、幼児教育保育研究、職員研修、広報等の活動を推進
- ◎特定教育・保育事業者、及び私学助成園に対する助成
- ◎人材育成、就職ポータルサイトの取り組み

III. 子育て環境の充実を目指すための事業

- ◎子育てしやすいまちづくりに向けた振興活動を行う

IV. 公益目的事業（不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業）

- ◎子育て支援事業
 - ① 親子イベントの開催
 - ② 幼児教育・保育事業者ガイドブック

V. 委員会活動事業

- ◎総務委員会
- ◎研修委員会
- ◎経営委員会

VI. 収益事業

- ◎再生画用紙、会場貸付

設定計画 令和7年度(2025年度)予算額 450,000円

以上